

【諏訪市】舗装長寿命化修繕計画の策定について

目的

諏訪市では約550kmに及ぶ道路を管理していますが、今までは目標管理水準を設定していませんでした。そこで、道路の重要度に応じ、舗装の管理レベルを設定することにより、道路の安全・安心を確保します。さらには計画的な予算管理により、費用の縮減に努めます。

舗装長寿命化修繕計画の内容

現状の把握(路面性状調査)

5年に1度の頻度で、路面性状測定車や目視点検により路面性状調査を行い、損傷指標※1及びMCI※2により舗装の劣化状況を把握します。

目標管理水準の設定

路線の重要度に応じた目標管理水準を設定し、舗装の最適な維持修繕を行います。

舗装の計画的な予防保全

各路線の目標管理水準を達成し、またライフサイクルコストを勘案した中で、計画的な舗装の維持修繕を行います。

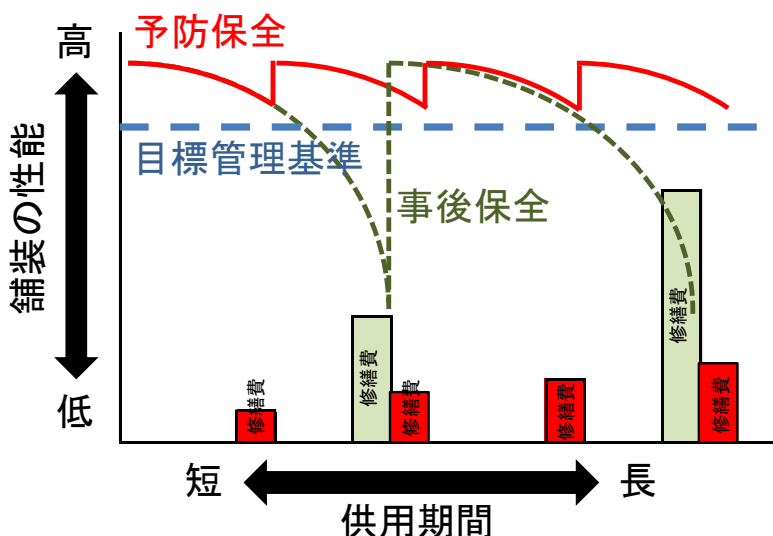
事後評価

計画的な執行がなされているか、中長期(5、10年)の管理基準値を設定し目標達成度の状況により事後評価し、計画を見直します。

舗装長寿命化修繕計画の効果

舗装が壊れたら修繕する事後保全面と舗装の劣化状況を見ながら修繕する予防保全面を比較した場合、**50年間で約9億円**が縮減できる見込みです。

50年で
約9億円の縮減



※1 損傷指標

車両ビッグデータを用いて算出される値。市販車のコネクティッドカー(車載通信機)により収集された路面の振動データや走行位置などの情報を解析し求められる。

※2 MCI: Maintenance Control Index(維持管理指数)

国土交通省が開発した舗装を総合的に評価する指標。路面の「ひび割れ」「わだち掘れ」「平坦性」の3要素を用いた評価式により求められる。